

豊島区 令和2年度 予算案重点事業



わたしらしく、
暮らしをまもる。



国際アート・カルチャー都市としま

index

令和2年度予算案の規模と特徴 ……………1

令和2年度新規・拡充事業の規模と特徴……………2

■1.文化を基軸にしたまちづくり

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック……………3
- (2) 世界を魅了するエンターテインメントのまち…4
- (3) マンガ・アニメの聖地にようこそ……………6

■2.高齢者にやさしいまちづくり

- (1) 総合高齢社会対策プロジェクト……………8
- (2) 社会的孤立ゼロ……………11
- (3) 100歳健康……………12
- (4) 一人暮らしでも安心……………13

■3.子どもと女性にやさしいまちづくり

- (1) 待機児童ゼロへのさらなる挑戦……………14
- (2) 公園から広がる子どもたちの夢……………15
- (3) 多様な支援で子どもたちを育む……………16

■4.さらに安全・安心なまちづくり

- (1) 災害対応力の強化 ……………17
- (2) 地域の安全・安心……………19

■「4つの公園」が、街を変える！……………20

各分野別の重点事業

1.文化を基軸にしたまちづくり……………22

2.高齢者にやさしいまちづくり……………24

3.子どもと女性にやさしいまちづくり…26

4.さらに安全・安心なまちづくり……………29

5.地域とともに育む教育……………32

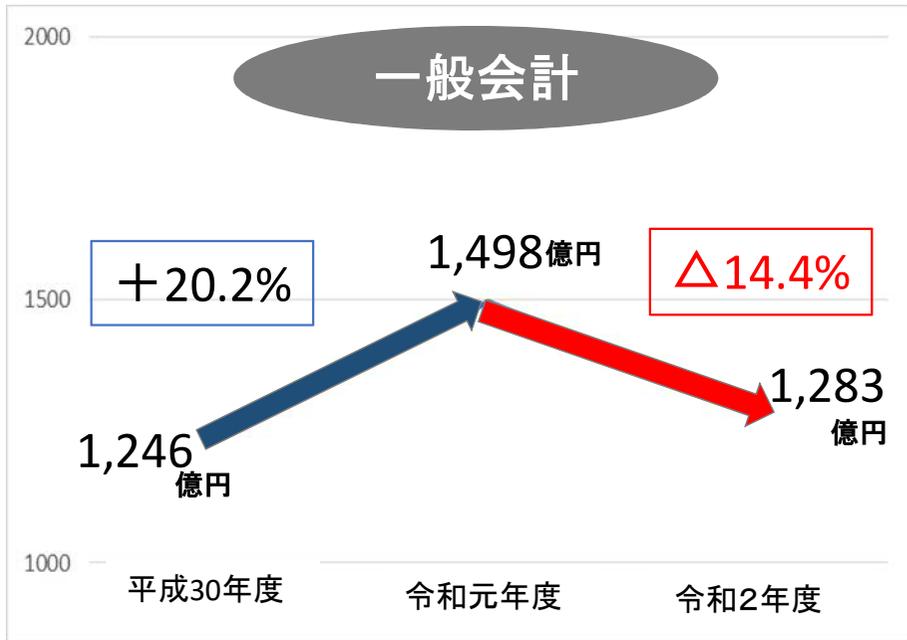
【参考】公益財団法人 としま未来文化財団事業 ……34

※ 本資料における新規・拡充事業は、全新規・拡充事業の中から抜粋したものです。
※ 施設整備事業で新規・拡充事業ではない継続事業も掲載しています。

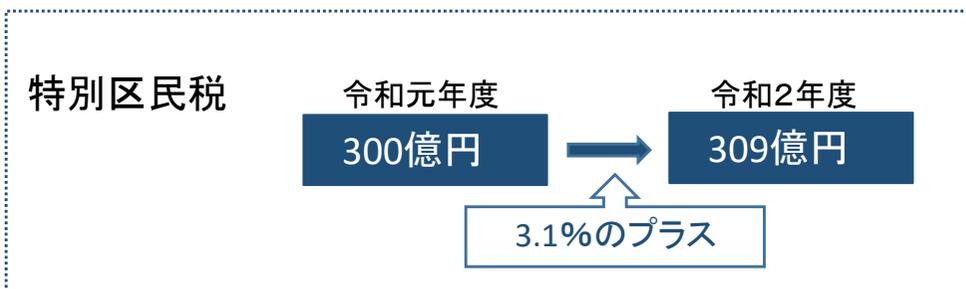
一般会計当初予算 1,283億円

対前年度比 $\Delta 215$ 億円 $\Delta 14.4\%$

将来展望を見据えたメリハリのある予算

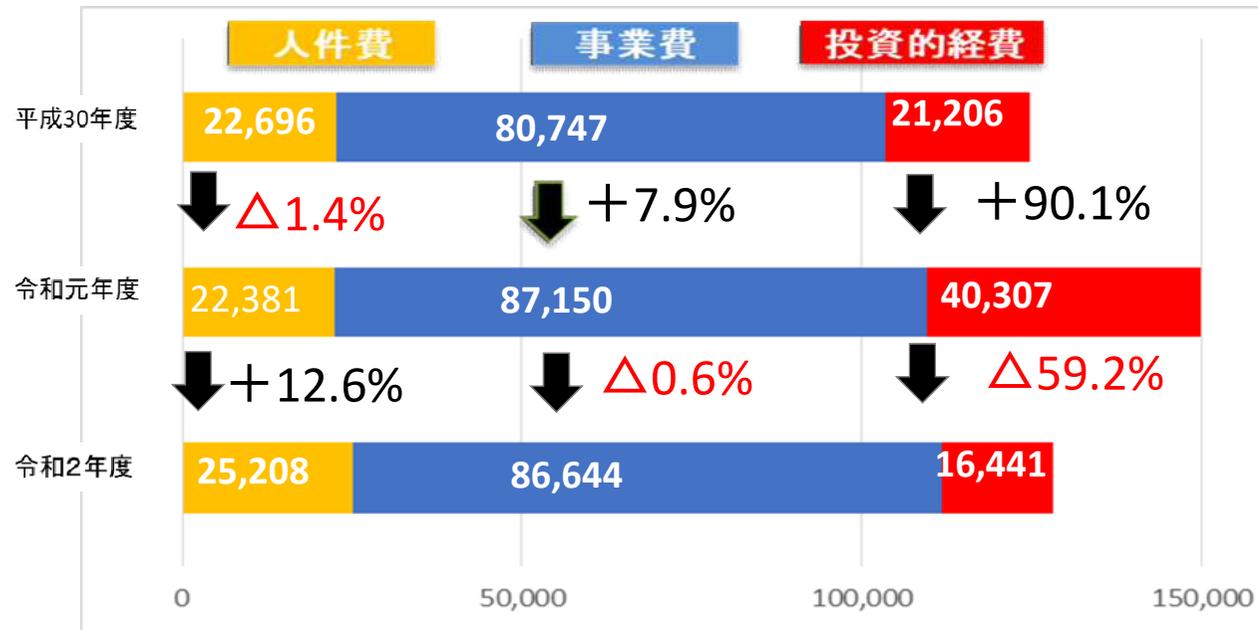


●特別区民税は、約2万1千人の納税義務者の増により、対前年度比3.1%の増となる309億円の見込み



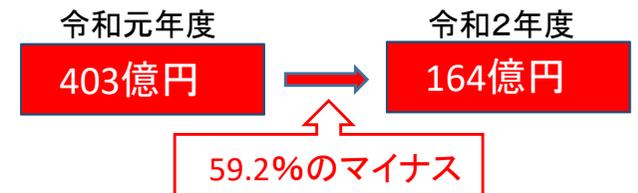
一般会計内訳

(百万円)



- 令和元年度は、文化によるまちづくりに計画的かつ集中的に投資し、まちの基盤を整備
- 令和2年度は、まちの魅力と価値を最大限引き出し、「ひと」が主役となる事業を展開

投資的経費



令和2年度新規・拡充事業の規模と特徴

2040 国際アート・カルチャー都市の形成

東京都との連携
公民連携



劇場やホール、サブカルに関する施設の集積や身近な芸術・文化活動により、世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市が形成

「未来の東京」戦略ビジョンより抜粋
(令和元年12月:東京都)

まち全体が舞台の
誰もが主役になれる
劇場都市

2020 すべての人が輝く「としま新時代」へ

1. 文化を基軸 としたまちづくり

31事業 8億3千万

- ①東京オリンピック・パラリンピック
- ②世界を魅了するエンターテインメントのまち
- ③マンガ・アニメの聖地ようこそ

2. 高齢者に やさしいまちづくり

63事業 9億8千万

- ①総合高齢社会対策プロジェクト
- ②社会的孤立ゼロ
- ③100歳健康
- ④一人暮らしでも安心

3. 子どもと女性に やさしいまちづくり

66事業 11億1千万

- ①待機児童ゼロへのさらなる挑戦
- ②公園から広がる子どもたちの夢
- ③多様な支援で子どもたちを育む

4. さらに安全・安心な まちづくり

34事業 28億5千万

- ①災害対応力の強化
- ②地域の安全・安心

★東アジア文化都市のレガシーとなるまちの魅力と価値を最大限引き出し、「ひと」が主役となる様々な事業を展開
★公と民の役割分担と連携を強力に進め、誰もが主役になれる劇場都市を発展

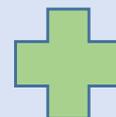
※上記事業数、事業費には、分野を重複する事業を含みます。

全269事業 約45億円

2019 文化のまちづくりへの集中投資

東アジア文化都市の成功と、「100年に一度」の文化のまちづくりへの**集中投資**により、賑わいと活力を生み続けるまちの姿を明確に

東アジア文化都市
日・中・韓の文化交流



まちづくり記念事業
23プロジェクト

東京オリンピック・パラリンピックの感動をライブサイトで

東京オリンピック・パラリンピック期間中、世界中から訪れる多くの来街者が大会の感動と興奮を共有する場として、組織委員会と東京都が設置するライブサイト等は、都庁や代々木公園など都立施設を中心に8会場あります。池袋西口の新たなシンボルとなった池袋西口公園は、都内で唯一、区立施設のライブサイト会場として選ばれました。1日の乗降客数が260万人を超えるターミナル駅から徒歩2分の立地に、縦3m横11mの大型ビジョンや臨場感あふれるサウンドシステムなどの機能が揃う野外劇場は、他に類を見ない施設です。組織委員会や東京都と連携しながら、他の会場では見られない工夫によって、国内外の皆さんが大会の熱気と感動を楽しんでいただけるライブサイトを実現していきます。また、セキュリティ対策、暑さ対策、多言語対応、医療体制の整備についても組織委員会、東京都、警視庁などと連携するとともに、地域一体となって取り組んでいきます。



◆池袋西口公園ライブサイトの特徴

Point1

区立施設でのライブサイト開催は都内で唯一

Point2

ターミナル駅に近接し、繁華街にあるライブサイトは都内で唯一

Point3

開催時間が「14:00～21:00」のため、ナイトライブ観光も楽しめる

Point4

多言語対応のインフォメーションカフェを設置

ライブ中継を映す大型ビジョン



■開催概要■

- オリンピック開催（7月24日～8月9日）パラリンピック開催（8月25日～9月6日）期間中の合計30日間で開催予定。
- 一日あたりの想定来場者数 5,000人 ※東京2020ライブサイト等基本計画より

■池袋西口公園 施設概要■

- 面積 公園全体 3,123㎡ 舞台 約85㎡
- 大型ビジョン フルカラーLED 縦2,880mm×横10,800mm 6mmピッチ

池袋西口

本格的なクラシックが堪能できる野外劇場 池袋西口公園(愛称「グローバルリング」)



「炎のマエストロ」小林研一郎氏
(豊島区芸術顧問(音楽監督))

昨年11月、池袋西口公園はクラシックコンサート、演劇、ダンスなど多彩なプログラムを展開する野外劇場としてリニューアルしました。ゴールドに輝く5本のリングがステージと客席を囲み、大型ビジョンや8chサウンドシステムも設置した「GLOBAL RING THEATRE」。

毎週水曜日夜間に2回、本格的なクラシックコンサート「Tokyo Music Evening `Yübe`」を開催しています。昨年のオープニングコンサートでは炎のマエストロ・小林研一郎さんが登場し、感動的な演奏をご披露いただきました。また、国内外の一流の交響楽団からも熱烈なオファーを頂くなど、今、世界から注目される野外劇場です。



「GLOBAL RING THEATRE」

ナイトライブ観光推進事業経費	9,091万円	→22ページ
野外劇場イベント観光経費	3,600万円	→22ページ
野外劇場管理運営経費	15,660万円	→23ページ

池袋東口

1000万のきらめく物語が生まれる8つの劇場 Hareza池袋 2020年6月グランドオープン

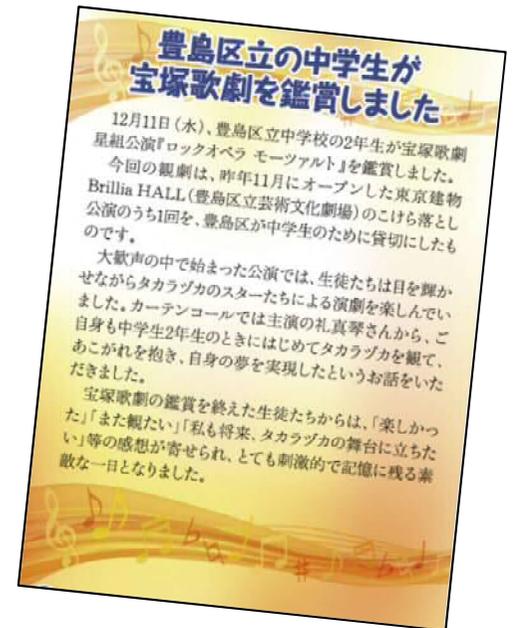
2020年6月、公民連携によるビッグプロジェクトとして33階建のHareza Towerを含む全エリアが、グランドオープンします。

昨年11月にオープンした東京建物Brillia HALL(区立芸術文化劇場)では、宝塚歌劇や歌舞伎のほか、トニー賞8部門受賞のブロードウェイミュージカル日本人キャスト版の初上演など、数々の話題作を上演してまいります。

区内の中学生を対象とした宝塚歌劇の「鑑賞教室」も開催し、未来を担う子どもたちが本物の芸術・文化に触れる貴重な機会となっています。



東京建物Brillia HALL(区立芸術文化劇場)



教育だより豊島(令和2年2月発行)

芸術文化劇場こけら落とし公演関係事業経費	10,000万円	→22ページ
Hareza池袋グランドオープン関係事業経費	1,000万円	→22ページ

世界中どこにもないオンリーワンのIKEBUS

東京オリンピック・パラリンピックを機に、多くの来街者が訪れることから、池袋の新たなまちのシンボルとして、昨年11月からIKEBUSが運行を開始しています。IKEBUSは、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」をはじめ、数多くの車両をデザインしてきた世界的な工業デザイナー水戸岡鋭治さんが、豊島区のためにデザインした環境にやさしい電気バス。「池袋といえばIKEBUSの『赤』が浮かぶまちに」との思いが込められた赤色は「池袋RED」というオリジナルカラー。座席の張り地や寄木細工のような床の素材もオリジナルで、1台1台手作りされた、オンリーワンの電気バスです。ゆったりと走る車窓から風景を楽しみながら、池袋のまちの魅力を感じていただけます。



Photo Hiroyuki Mayuzumi

IKEBUS

■ IKEBUS ■

- ・最高速度 時速19km
- ・座席数 14席（車いすスペース有）
- ・運賃

【1回乗車】	大人200円	子ども・高齢者、障害者手帳提示	100円
【1日券】	大人500円	子ども・高齢者、障害者手帳提示	250円
- ・災害時には非常用電源として活用
 - ① 100Wの電球25個を10時間程度照明可能
 - ② 1台でiPhone約2,000～2,500台分の充電可能

きれいなまちでおもてなし



水戸岡鋭治さんがデザインしたお揃いのユニフォームで、「としまシルバースターズ」の皆さんが池袋駅周辺を清掃。
※現在は「水・土・日・祝」の12時～15時に活動中。

「としまシルバースターズ」の皆さん

シルバー人材センターの会員が、来街者にごみのポイ捨て禁止を周知しながら、3人5班編成でポイ捨てごみの回収を行っています。4月から平日の回収を1日増やし、さらに7月からは3人10班編成に拡充します。

きめ細やかな多言語対応

多言語対応のインフォメーションセンターを池袋の東西に設置し、きめ細やかに対応しています。

区民センター



池袋東口：としま区民センターの
エントランスホール（日・英・中）

池袋西口公園



池袋西口：池袋西口公園内の
カフェ（日・英・中・伊）



さまざまな案内を設置

多文化共生のまちづくり

国際アート・カルチャー都市の実現に向けた施策と並行して、「現在豊島区に住んでいる」または「豊島区に住みたい」と感じた世界の人々の受け皿となる「多文化共生のまちづくり」も推進していきます。区内の大学と連携し、日本語教育の実態調査を行うほか、多言語でごみの分別・出し方を周知するQRコードの設置など、住みやすい街づくりに向けた取組みを広げていきます。

日本が誇る マンガの聖地

トキワ荘マンガミュージアム 2020年3月22日オープン

日本のマンガ史にその名を残す「トキワ荘」。
 昭和27（1952）年に豊島区椎名町（現・南長崎）に建てられた木造2階建てのこのアパートには、昭和を代表するマンガ家たちが若手時代に暮らしていました。彼らが切磋琢磨して取り組んだ「マンガ」は、のちに日本を代表する文化にまで発展を遂げます。建物は昭和57（1982）年に老朽化のため解体されましたが、今、多くの関係者やファンの支援を受け、「トキワ荘」がよみがえります。



当時の様子を忠実に再現！

トキワ荘マンガミュージアム管理運営事業経費 13,679万円→23ページ
 トキワ荘通りお休み処機能強化事業経費 662万円→22ページ
 トキワ荘まちづくりプロジェクト事業経費 500万円→22ページ

2階



再現部屋・記念撮影スポットなど

1階



マンガラウンジ・企画展示室など

施設概要

- ◆所在...南長崎3-9-22（南長崎花咲公園内）
- ◆開館時間...午前10時～午後6時
（入館は午後5時30分まで）
- ◆休館日...毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、
年末年始、展示替え期間
- ◆入館料...無料（企画展は有料の場合あり）

全国の皆様からの寄附が 4億2千万円を超えました！ （1月31日現在）

◆個人	715件	201,176,331円
◆法人	222件	222,499,212円
合計	937件	423,675,543円

★3万円以上の寄附者のお名前を銘板に記載

開館記念企画展「みんなのトキワ荘」
 2020年3月22日（日）～6月28日（日） 午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）
 初日（3月22日）は午後1時からオープン。 ※3月23日（月）は特別に開館。
 トキワ荘ゆかりの品やお祝いメッセージなどを展示公開します。

世界が注目 アニメの聖地

誰もが主役になれるまち「池袋アニメタウン」



池袋アニメタウンフェスティバル @Hareza池袋

2017年より池袋で開催している国際的なアニメーション映画祭「東京アニメアワードフェスティバル」、国内外から12万人以上のコスプレファンが来場する「池袋ハロウィンコスプレフェス」、昨年の来場者数が過去最高の10万人を突破した「アニメイトガールズフェスティバル」など、“アニメの聖地”として国内外から注目される池袋は、まち全体がアニメの国際舞台となる「池袋アニメタウン」として生まれ変わりました。ドワンゴ、アニメイト、ポニーキャニオン、そして新たに誕生するミクサライブ東京などと連携し、池袋から世界に365日新たな感動を発信し続けます。



東京アニメアワードフェスティバル ©TAAFEC. All Rights Reserved.



アニメイトガールズフェスティバル (AGF) ©yura@AGF2019



池袋ハロウィンコスプレフェス ©池袋ハロウィンコスプレフェス2019



2020年3月19日 Mixalive Tokyo 誕生

池袋アニメタウン戦略の策定経費 500万円➡22ページ

“総合高齢社会対策プロジェクト” 推進！

～ 日本一の“高齢者にやさしいまち”の実現を目指して～

豊島区はこれまで、破綻寸前の財政危機も、消滅可能性都市の危機も、オールとしまの「文化によるまちづくり」、「女性にやさしいまちづくり」などでピンチをチャンスに変え、40年ぶりの人口29万人突破など、「住みたいまち」として選ばれるまちになってきました。

日本全体が人口減少・少子高齢社会に突入する中、本区の人口は2054年頃までは増加が見込まれ（平成28年「豊島区人口ビジョン」）、高齢化率も横ばい傾向にあります。このような今だからこそ「高齢社会対策」です。

オールとしまの総力を結集し、他都市よりも一歩も二歩も先んじた対策を講じることで、日本一の「高齢者にやさしいまち」を実現していきます。

総合高齢社会対策プロジェクト関係 新規・拡充事業経費 63事業 9億7,878万円



人口密度日本一の豊島区は、一人暮らし高齢者の割合も日本一です。一人暮らしは「社会的孤立」を生みやすく、社会的孤立は不健康や消費者被害、生活の質の低下などにつながります。

一人暮らし高齢者の割合が高いのは、生活利便度が高く、一人でも暮らしやすいまちであることを示しているため、それは決して悪いことではありませんが、一人暮らしの方が多ければ課題も少なくありません。

一方、「一人暮らしの人にやさしいまち」を実現できれば、それは「すべての人にとってやさしいまち」となります。

高齢者人口に占める一人暮らしの割合 全国ランキング

75歳以上		65歳以上	
① 豊島区	37.0%	① 渋谷区	34.7%
② 渋谷区	35.4%	② 豊島区	33.8%
③ 杉並区	35.3%	③ 新宿区	33.4%
④ 新宿区	35.2%	④ 杉並区	32.8%
⑤ 千代田区	35.2%	⑤ 中野区	32.4%
全国平均	19.8%	全国平均	17.7%

平成27年国勢調査（町村・行政区を除く）

まさしく「ピンチ」を「チャンス」に！

日本一の“高齢者にやさしいまち”へ
豊島区の挑戦！

すべての“人”が主役の豊島区へ

～ 誰も孤立させない、みんながいきいきと、健康で安心して暮らせるまち ～

豊島区の最大の強みは、「文化によるまちづくり」や「セーフコミュニティ」で培った、区民、民間企業、関係団体等が一体となった「オールとしま」の力です。

この「オールとしま」の力を最大限に活用し、一人暮らしでも健康で安心して暮らせるまちの実現を目指して、「社会的孤立ゼロ」、「100歳健康」、「一人暮らしでも安心」の3本柱で対策を推進していきます。



〈対策の3本柱〉

I

社会的孤立ゼロ

II

100歳健康

III

一人暮らしでも安心

東京都と緊密に連携

豊島区は、国家戦略特区の仕組みを活用した「選択的介護モデル事業」や、東京都健康長寿医療センターとの連携により推進してきた介護予防・認知症対策等をはじめ、東京都とタッグを組み、先進的な取り組みを進めてきました。

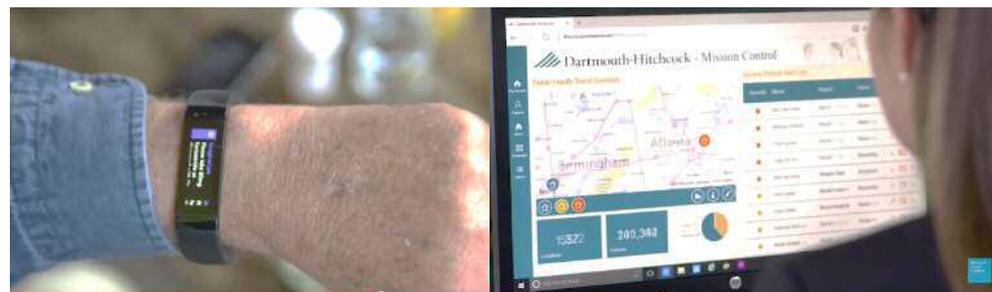
これからの高齢社会対策においても、これまで以上に東京都と緊密に連携し、他都市に先んじた先進的で総合的な対策を講じていきます。



東京都健康長寿医療センター

デジタル技術を最大限に活用

「Society5.0プロジェクト」を推進する東京都や、大学、民間企業等と強力に連携し、AI、IoT、ロボット等のデジタル技術を活用した高齢者の見守り、活動支援、健康増進等の仕組みを構築していきます。



「高齢社会“豊島区モデル”」を構築、全国に発信！

社会とつながる「30のアプローチ」

既存の高齢者福祉事業や健康施策を着実に推進するとともに、社会とつながる「30のアプローチ」に集中的に取り組み、「社会的孤立ゼロ」、「100歳健康」、「一人暮らしでも安心」の同時実現を目指します。



特別養護老人ホーム 池袋ほんちよの郷（令和元年6月開設）

★は令和2年度新規・拡充事業

社会的孤立ゼロ	100歳健康	一人暮らしでも安心
【取組方針】 ・ 外出や社会参加の促進に重点 ・ 文化を活かした外出したくなるまちづくり	【取組方針】 ・ 予防に重点 ・ 身近な地域での健康づくり	【取組方針】 ・ 日常生活の安心 ・ いざという時の安心
★ ① 就労の促進	★ ⑪ フレイル予防の全区展開	★ ⑳ 終活支援
★ ② 区民ひろばの充実	★ ⑫ 認知症の早期発見・早期対応	★ ㉑ 賃貸住宅への入居促進
③ 高齢者クラブの活性化	★ ⑬ がん検診の強化	㉒ 民生委員・児童委員の欠員解消
★ ④ 福祉と文化の融合	★ ⑭ 介護予防の推進	㉓ 選択的介護モデル事業
★ ⑤ シルバー人材センターの強化	⑮ 「としま健康チャレンジ！」の促進	★ ㉔ 成年後見制度の利用促進
★ ⑥ 地域見守りの推進	★ ⑯ 在宅医療連携の強化	★ ㉕ 福祉人材育成の強化
★ ⑦ 生涯学習の推進	★ ⑰ 特定保健指導の実施率向上	㉖ 地域支え合いの担い手養成
★ ⑧ 生涯スポーツの推進	★ ⑱ 受動喫煙対策の推進	★ ㉗ 介護施設の整備
★ ⑨ 中小規模公園の活用	★ ⑲ 高齢者の服薬管理の推進	★ ㉘ 高齢者への情報提供の強化
★ ⑩ 公共施設等のバリアフリー推進	★ ㉚ 池袋保健所の機能強化	★ ㉙ 高齢者の安全運転支援

社会的孤立ゼロ関係 新規拡充事業経費
36事業 6億5,752万円

100歳健康関係 新規・拡充事業経費
17事業 2億4,255万円

一人暮らしでも安心関係 新規・拡充事業経費
10事業 7,871万円

外出・社会参加の促進で社会的孤立ゼロに

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）等の働き掛けによる地域づくりや、民生委員・児童委員を中心とする地域の見守りを充実させつつ、高齢者の積極的な外出や社会参加を促進する取り組みを強化していきます。

ロボット技術の活用で就労促進

身体に装着することで活動を補助する「パワーアシストスーツ」等のロボット技術によるツールを活用し、高齢者の就労の可能性を広げていきます。

令和2年度は、ロボット技術を研究する大学やシルバー人材センター等と連携し、シルバー人材センターの会員に装着して仕事をしてもらいながら、課題を検証します。

全国初

社会的孤立ゼロプロジェクト事業経費 604万円 →24ページ



【出典】<http://atoun.co.jp/products/atoun-model-y>



I

社会的孤立ゼロ

「おとな食堂」で地域とつながる

令和元年6月から東池袋フレイル対策センターで開催している「おとな食堂」が好評です。毎週水曜日の夕方に開催し、1食300円で「低価格で栄養が摂取できる食事」を提供していますが、ほぼ毎回、用意した30食が完売しています。

このような地域の中の居場所、交流の場を増やしていきます。



プレシニアへの情報発信

55・60・65歳のプレシニアの皆さんに、年代に合わせた社会参加・健康増進等の情報を戸別配付し、高齢期のライフプランを考える契機にまいります。



区民ひろば マンドリンコンサート



高齢者クラブ ゲートボール大会

積極的な予防で100歳健康のまちづくり

フレイル予防拠点の全区展開

全国初

要介護状態一步手前の「フレイル（虚弱）」を予防する拠点として令和元年5月に全国初で開設した「東池袋フレイル対策センター」は、1日平均30人、現在までに延べ5千人を超える皆さんにご利用いただき、大変好評です。

さらにより多くの皆さんにフレイル予防に取り組んでもらうため、小学校区ごとに設置している22か所の「区民ひろば」に「運動機能分析装置」等の機器を設置するとともに、リハビリテーション専門職等が区民ひろばを巡回して指導します。

予防拠点の全区展開で、身近な地域でフレイル予防に取り組める体制を整備していきます。

フレイル対策推進事業経費 3,581万円 →25ページ
フレイル対策センター運営事業経費 2,500万円 →25ページ

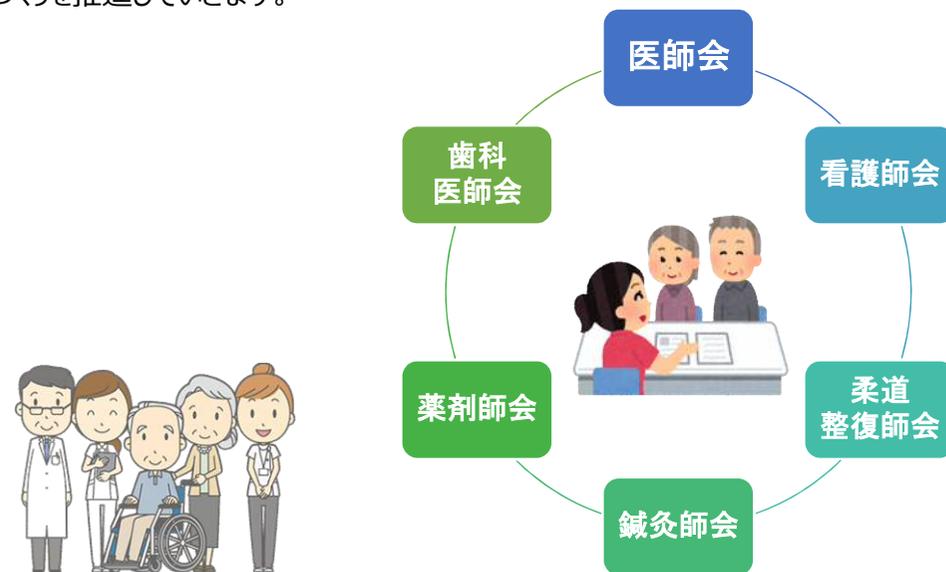


II

100歳健康

医療専門団体との強固な連携で推進

医師会、歯科医師会、薬剤師会をはじめ、看護師会、柔道整復師会、鍼灸師会等の医療専門団体と強固に連携し、オールとしまの健康増進体制で健康まちづくりを推進していきます。



70・75歳の区民に認知症検診

70・75歳の区民の皆さんに、認知症の疑いを簡単に確認できるチェックリスト等を送付し、正しい知識の普及啓発を図ります。確認の結果、認知症が疑われる方には「認知機能検査」を実施します。

また、認知症に関する地域連携を推進する「認知症地域支援推進員」を増員し、認知症検診後のフォロー体制を強化します。

認知症検診推進事業経費 763万円 →25ページ
認知症地域支援推進員活動事業経費 422万円 →25ページ

いざという時の安心をサポート

お墓の安心

低所得者の中には、お墓を持たず、自らの死後にお墓に入れない方が少なからずいらっしゃいます。このような自らの死後の不安を抱える低所得者を対象に、区内寺社・葬祭事業者等と連携し、高齢者の「終活」を支援します。

- ① 低所得者が自らの死後、区内合葬墓での永代供養を希望する場合、**埋葬費用・永代供養料等の一部を助成**します。

全国初

- ② 低所得者からの葬儀・納骨・遺品整理等に関する相談に対応し、協力葬祭事業者等との生前契約を支援します。

23区初

終活サポート事業経費 1,060万円 →25ページ



Ⅲ

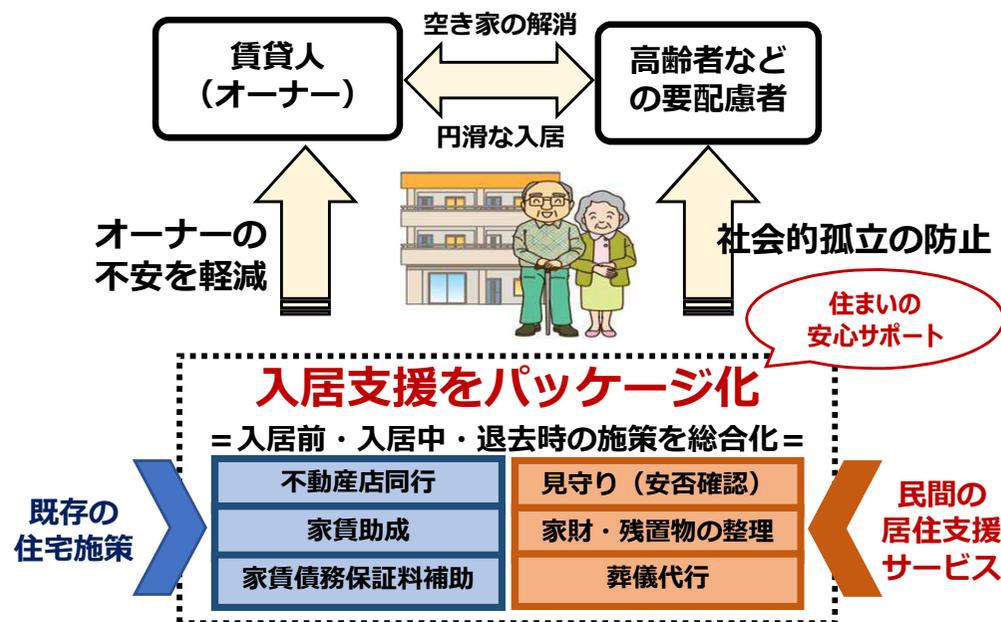
一人暮らしでも安心

住まいの安心

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会が平成27年12月に実施した調査によると、民間賃貸住宅オーナーの70.2%が高齢者世帯の入居に拒否感があると回答しています。

このような住宅オーナーの不安を軽減するため、住宅オーナーに対する家賃低廉化補助や家賃債務保証料補助等の住宅対策に加え、民間の居住支援サービスを活用した**高齢者の見守りや死後の家財整理等の入居支援をパッケージ化**して提供し、高齢者の民間賃貸住宅への入居を促進します。

住宅セーフティネット事業経費 386万円 →25ページ



待機児童ゼロへのさらなる挑戦

さらに1歳児の受け入れ枠増！

豊島区は、平成29年度、30年度と2年連続の待機児童ゼロを更新してきましたが、31年度は1歳児16名の待機児童が生じてしまいました。

そこで、令和2年4月に向けて6園352名分を整備し、定員を確保しました。さらに、保育需要の高い1歳児の受け入れ枠を拡充します。

また、令和3年4月に向けても引き続き認可保育所の誘致をすすめ、待機児童ゼロを維持していきます。

◆新たに私立認可保育所7園の誘致

待機児童対策を開始した緊急プラン以降、平成25年度から令和2年4月までに56園(約4,000名分)の保育所を誘致しました。

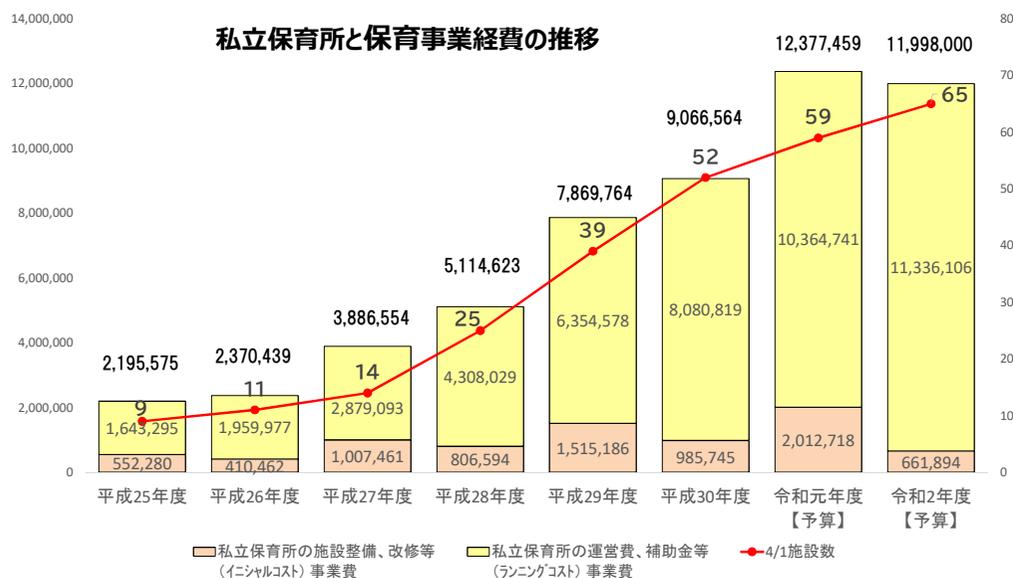
令和3年4月に向けては、さらに7園(約420名分の定員)を誘致する計画です。

※令和3年4月の私立認可保育所数は72園となる予定。

◆緊急1歳児受入事業

◆地域型保育事業における1歳児受入枠拡充事業

待機児童が多い1歳児を、認可保育所の空き定員や余裕スペースを有効に活用して緊急的に受け入れます(利用可能期間は1年以内)。また、地域型保育事業者において0歳児枠の一部を1歳児枠に振り替えるなどし、1歳児の保育サービスを拡大します。これらの対策により1歳児の受入枠数を約50名増やすことができます。



私立幼稚園給食費補助の拡大

現行: 360万未満相当世帯 → 拡大: 680万未満相当世帯

昨年10月1日から幼児教育・保育の無償化が始まり、3歳以上のお子さんと住民税非課税世帯の0歳から2歳のお子さんの基本の保育料が無償となりました。国はこの無償化に伴い、私立幼稚園に通う満3歳以上の一部世帯の給食費のうち副食費については補助の対象としましたが、本区は子育て支援の観点から、国が補助対象外とした主食費を補助対象としています。

令和2年4月からは、給食費の補助対象を現行の年収360万未満相当世帯から年収680万未満相当世帯まで拡大し、新たに400を超える世帯の経済的負担を軽減します。

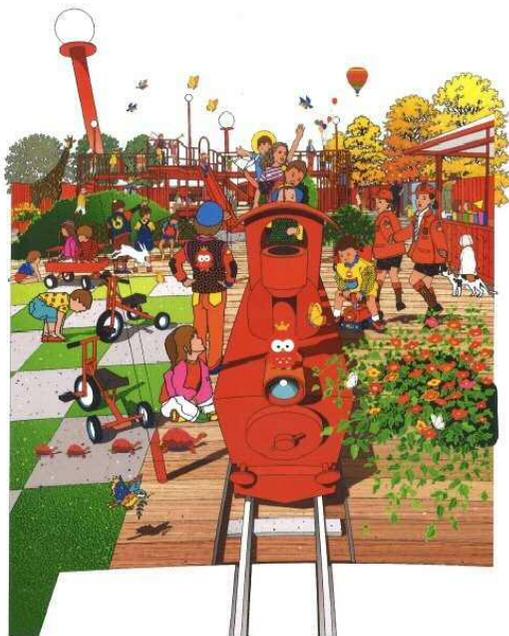
	基準	新制度未移行園※	新制度移行園※
現行 (10/1~)	副食費補助 (4,500円) ※年収360万円未満相当世帯又は第3子以降	◎ (区独自)	○ (国基準)
	主食費補助 (3,000円) ※年収360万円未満相当世帯又は第3子以降	◎ (区独自)	◎ (区独自)
拡大 (4/1~)	副食費補助 (4,500円) ※年収680万円未満相当世帯又は第3子以降に拡大	◎ (区独自)	◎ (拡大分は区独自)
	主食費補助 (3,000円) ※年収680万円未満相当世帯又は第3子以降に拡大	◎ (区独自)	◎ (区独自)

※新制度とは平成27年4月に施行された「子ども・子育て支援新制度」を指す。
子ども・子育て支援法の一部を改正する法律では移行園の副食費のみ補助対象としている。

待機児童対策関係経費 (10事業) 67,067万円 → 26ページ

私立幼稚園給食費補助事業経費 3,165万円 → 27ページ

としまキッズパーク 2020年7月オープン



2020年7月、「としまみどりの防災公園（愛称イケ・サンパーク）」の隣接地に、小さな子どもたちが安全に楽しく遊べる「としまキッズパーク」がオープンします。水戸岡鋭治さんがトータルデザインを監修したこの公園は、IKEBUSと同じ「池袋レッド」で統一され、保育園児や幼稚園児、小学校低学年の児童など、小さな子どもたち専用の広場です。また、**インクルーシブ公園**の概念を取り入れ、ベルトつきのブランコや乗り降りしやすいミニトレインなど、障害の有無などにかかわらず、誰もが一緒に遊び、そして学べる公園です。

としまキッズパークイメージ図

ともに育つ公園。

暮らしの中にある小さな公園について、地域や公園の特性を活かしながら、地域の皆さんとともに新たな活用方法の検討・検証をしていきます。もっと使いやすく、過ごしやすい公園を目指し、地域とともに公園を育てるプロジェクトを進めていきます。

禁止ではなく、「できる」を伝えるサイン

その公園でできることを、わかりやすく掲示します。サインは可動式で、公園の特徴に合わせ掲示内容を変えていくこともできます。

「遊ぶ：公園では未就学児のお子さんが柔らかい素材のボールで遊ぶことができます。保護者が見守り、お使いください。」



「IKEBUS」がとしまキッズパークまで送迎！

区内公立および私立保育園、希望する幼稚園の5歳児を対象に、真っ赤なIKEBUSが保育園等からとしまキッズパークまで送迎し、子どもたちの園外保育を充実させます。



としまキッズパーク整備事業経費 4,782万円➡27ページ

区内保育施設イケバス活用事業経費 685万円➡26ページ

パパママ★すぽっと



東京おもちゃ美術館監修の木のぬくもりがあふれる遊びスペース。
※平均来場者数（1日あたり）
平日：100名超、休日：200名超

必要な時に使える！必要な時だけ片づける！ 可動式ツールを活用！

ハード整備を少なくし、ソフトコンテンツ（可動式の遊具や机・椅子など等）を活用することで、ニーズに合わせた使い方ができ、また、複数の公園でシェアすることもできる、新たな取組みを進めていきます。



モバイル遊具の試験設置



公園を楽しくする車、
PARK TRUCK（パークトラック）

中小規模公園活用プロジェクトモデル事業経費
516万円➡28ページ

3. 子どもと女性にやさしいまちづくり

③多様な支援で子どもたちを育む

子どものための舞台芸術フェスティバル

日本
初開催

3年に一度のアシテジ世界大会と舞台芸術フェスティバルが、日本で初めて開催されます。こどもと文化芸術に関わる専門家が世界中から集まり、国際会議やワークショップなどが開催されます。また、国内外の選り抜かれた舞台作品が公演され、だれもが楽しめる祭典にもなっています。豊島区は、本大会に協賛する形で、子どもの鑑賞機会の提供と会場提供を行います。



第20回アシテジ世界大会開催支援経費 1,000万円→23ページ

不登校やいじめから子どもたちを守る ～スクール・ソーシャル・ワーカーの増員～

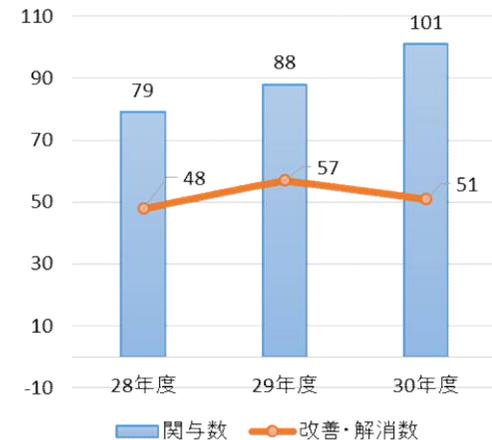
23区
トップの
配置率

全国に先駆けて常勤の係長職としてSSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）を配置した豊島区。令和2年は2名増員して6名にします。

23区で最も手厚い配置率（※）で、不登校、虐待、いじめ、貧困問題等にきめ細やかに対応する支援体制を充実させます。

※配置率は、令和元年度の児童・生徒数を元に豊島区で換算したもの

＜関与ケース数と改善・解消数の推移＞



スクールソーシャルワーカー（SSW）の雇用経費 1,139万円→33ページ

ふるさと納税寄附を活用した楽器の更新

楽器寄附ふるさと納税とは、使われなくなった「休眠楽器」を学校に寄附することで査定価格が税金控除される仕組みです。大切にされてきた楽器に思いを込める寄附文化の醸成や生徒たちの感謝の気持ちなどを育てます。

都内初



楽器寄附ふるさと納税実施事業経費 41万円→32ページ

養育費に関する取り決めに促進

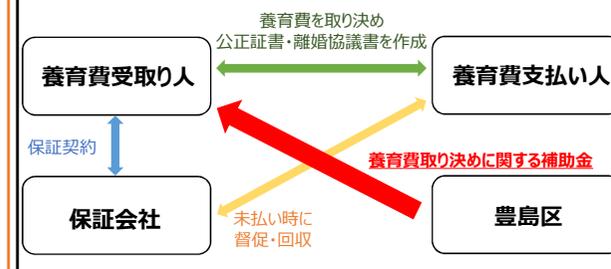
ひとり親世帯等において養育費の取り決めをしても、なし崩し的に未払いとなり生活困窮となる場合があります。養育費に関する公正証書等の作成にかかる本人負担分費用を補助することで養育費の履行を確保し、ひとり親世帯の生活安定を図ります。

都内初

全国ひとり親世帯等調査より (平成28年度)

養育費取り決め あり 42.9%
(うち、取り決め文書なし 26%)
養育費取り決め なし 54.2%

養育費の保証補助



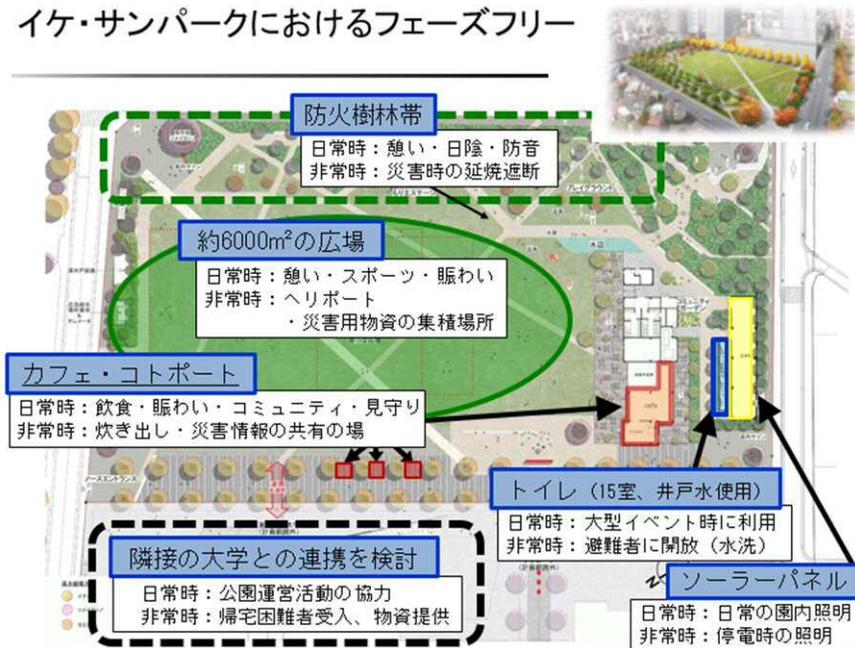
養育費に関する取り決め促進事業経費 97万円→27ページ

区全体の防災拠点

としまみどりの防災公園(愛称「イケ・サンパーク」 2020年7月オープン)

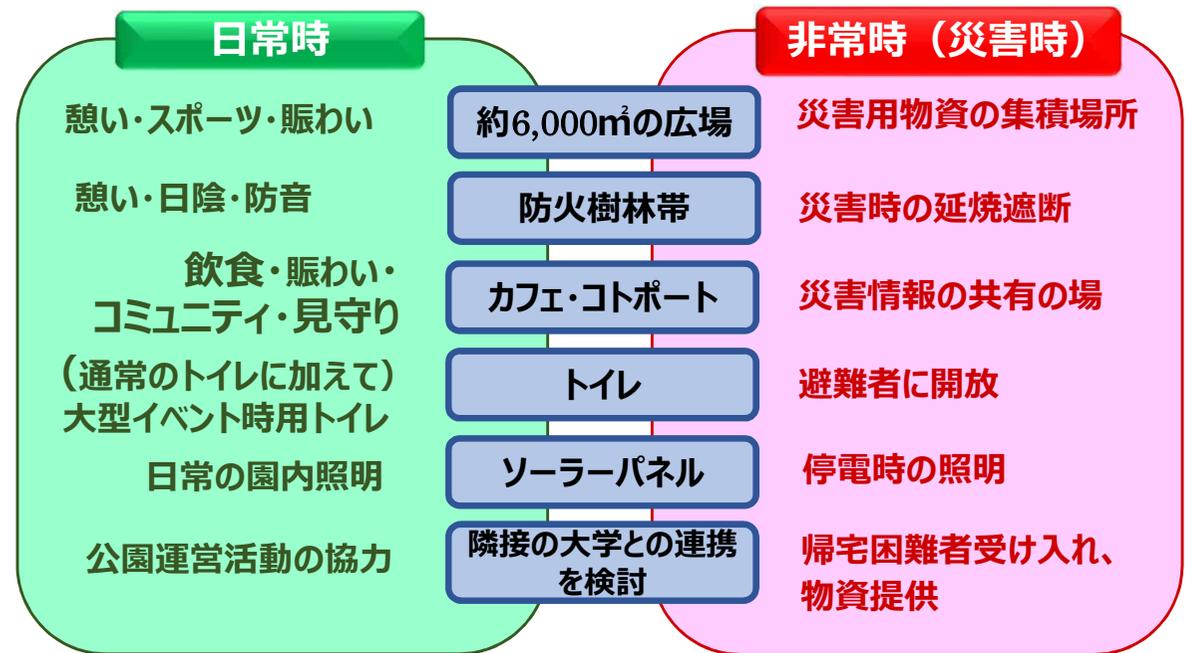
災害時に区全体の防災拠点となる防災公園(区内最大面積17,000㎡)がオープンします。都会のオアシスとしての機能も有しているフェーズフリーな公園です。

イケ・サンパークにおけるフェーズフリー



日常時は都会のオアシス

非常時は、最新機能を装備した防災公園



【フェーズフリーとは】

- 日常時と非常時という時間的なフェーズをフリーにする
- いつもの生活で便利、もしもの時には役に立つ という考え方
(一社)フェーズフリー協会資料から引用



救援センターの機能を強化

昨年10月に東日本各地を襲った台風19号では、区内各所で倒木・浸水等の被害が同時多発的に発生しました。近年、異常気象によるゲリラ豪雨、さらに台風の大型化や勢力の拡大により、ライフラインの寸断などの被害が深刻化しており、こうした風水害への対策強化が必須となっています。地震に加え、風水害時についても救援センター開設等の基準に沿って対策を行っていきます。

迅速な救援センターの開設

- 風水害時にも、震災時と同様に35か所の救援センターを開設し、区民の皆さんの安全・安心に最善の体制を整えます。
- 各救援センターに、センター開設の行動手順書や個別マニュアルを収納した「救援センター開設キット」を設置することで、小人数でも迅速に開設できるようにします。

キットの特長



救援センター用備蓄物資の充実

- 避難者(約34,000人想定)に提供する備蓄食料を
1日分⇒3日分に拡大
- 上池袋備蓄倉庫等に発災後3日目までの食料を集中備蓄
- 水や空気発電する非常用電池を5年間で3,000人×2日分備蓄
(1台でスマートフォン30台フル充電)
- 口腔衛生品の備蓄
口腔ケアウエットティッシュと歯ブラシを避難想定生活者の1/3を用意
- としまどりの防災公園(イケ・サンパーク)を救援物資搬入集配拠点とし、全国からの救援物資を受け入れ、各救援センターへ配送



マグネシウム空気電池

防災意識の向上

本年7月に開園する「としまどりの防災公園」で、10月に「としまDOKI★DOKI防災フェス」を実施します。従来の防災訓練に加え、体験型の訓練を実施し、子どもから大人まで楽しみながら、「自助・共助」の重要性を学べるイベントを目指します。本イベントを契機に、若い世代を含めた多様な世代に継続的な訓練の参加を促し、地域防災力の強化を図ります。

災害情報収集・発信力の強化

- 災害時等の区公式ホームページへのアクセス集中にも耐えうる負荷分散するシステムを導入
- 防災無線デジタル化による機能向上。フリーダイヤルによる無線放送の内容確認

救援センター開設キットの整備経費	593万円 →29ページ
救援センター用備蓄品の入替・積増経費	2,838万円 →29ページ
帰宅困難者用備蓄物資の入替経費	1,748万円 →29ページ
災害用電源供給物品(空気電池)の備蓄経費	132万円 →29ページ
災害時生活必需品(口腔衛生)備蓄事業経費	124万円 →31ページ
豊島区ホームページ災害時アクセス対策を講じたシステム改修	640万円 →31ページ

環境モデル路線～立教通りの整備がいよいよスタート

豊島区初の環境モデル路線となる立教通りの整備が始まります。自然環境が有する多様な機能を活用するグリーンインフラの取組みを推進するとともに、新たな交通体系を導入し歩道の幅員を広げるなど、安全で快適な歩行者空間の整備を進めます。

立教通り整備事業経費 10,740万円 ➡31ページ



立教通りイメージ図

無電柱化の推進



巣鴨地蔵通りイメージ図

都市災害の防止等を目的とした無電柱化の工事が区内で着々と進んでいます。目白地区「学習院橋の坂」は2020年3月末に完成し、巣鴨地区「巣鴨地蔵通り」や池袋地区「立教通り」も順次整備を進めていきます。

また、区内の無電柱化を推進するための目標、施策、必要な事項等を取りまとめた「豊島区無電柱化推進計画」を策定します。

無電柱化事業（巣鴨地蔵通り）経費
18,408万円 ➡31ページ

学校の安全・安心

小中学校の校門及び幼稚園の門への自動施錠化を行います。現在、来校者用門扉が自動施錠でない11施設に対し、令和2年度は7施設、残り4施設は令和3年度に設置します。
(22施設は設置済)



ボタン式錠

ICタグを保持した児童が校門を通過すると、登録した保護者アドレスにメッセージが即時送信されるシステムを全小学校に設置します。
対象：小学1～3年生



学校門扉の自動施錠化事業経費 1,866万円 ➡33ページ
入退室管理システム区立小学校への拡張経費 510万円 ➡33ページ

地球環境を守る～自治体連携によるカーボン・オフセット事業の取組み～

地方の固有財源として譲与されている「森林環境譲与税」を活用し、秩父市と森林整備に関する協定締結を行い、「としまの森」としてカーボン・オフセット事業を実施しています。森林整備を行うことにより、区内CO2吸収量の増大を図るとともに、都市部では体験できないダイナミックな自然体験を行う環境交流事業の場として活用し、区民への環境教育を促進します。令和2年度は長野県箕輪町とも森林整備に関する協定を締結し、「としまの森」として整備していきます。

四季を通じて多彩なイベントが展開される「4つの公園」が、街を変える！

2020年7月、「としまみどりの防災公園」のオープンにより、ついに池袋駅周辺の4公園の整備が完成します。国際アート・カルチャー都市構想の基本コンセプトである「まち全体が舞台の、誰もが主役になれる劇場都市」の実現に向け、まちの価値を高めていくための起爆剤として進めてきた、合計面積約30,000㎡の公園による都市再生。垂直方向ではなく、面的な広がりで行う都市再生は、エリア全体の回遊性を高め、まちに賑わいをもたらしています。昨年12月に発表された「未来の東京」戦略ビジョンに記載されたように、2040年の池袋が『劇場やホール、サブカルに関する施設の集積や身近な芸術・文化活動により、世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市が形成（「未来の東京」戦略ビジョンより抜粋（令和元年12月東京都発表）』となるよう、東京都や民間企業と連携しながら、街の魅力をさらに高めていきます。

2019年11月 オープン ■ 池袋西口公園

【愛称：グローバルリング】

東京芸術劇場に隣接し、大型ビジョンや8chサウンドシステムを備えた本格的な野外劇場「GLOBAL RING THEATRE」。クラシックコンサート、演劇、ダンスなど多彩なプログラムを開催しています。



Hareza(ハレザ)池袋 2020年6月末グランドオープン

- オフィス棟(Hareza Tower) (仮称) TOHOシネマズ池袋等
- 芸術文化劇場、ライブ劇場等 (2019年11月)
- としま区民センター (2019年11月)

中池袋公園 1,786㎡



2019年9月 オープン ■ 中池袋公園

池袋アニメタウンの中心として「アニメの聖地・池袋」を発信する拠点。Hareza池袋の8つの劇場とも連携して、アニメやコスプレ関連のイベントなどを展開していきます。

2020年7月 オープン予定 ■ としまみどりの防災公園

【愛称：イケ・サンパーク】

区内最大面積の防災公園。防災機能を備えた賑わいの拠点として、日常時と非常時の両方の機能を持つフェーズフリーな公園です。



公園が街を変える！

2016年4月オープン ■ 南池袋公園

青空が広がる芝生広場が大人気の公園。ニューヨーク市のブライアントパークのように明るく、開放感のある憩いの場です。



南池袋公園 7,811㎡

東京国際大学

約10,000㎡
2023年9月開校予定
2019年10月
池袋保健所
飯庁舎 としまキッズパーク
2020年7月オープン

2020年7月 オープン予定 ★ としまキッズパークも同時オープン

小さな子ども専用の公園。インクルーシブの概念も取り入れ、障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に遊べる公園を目指しています。



各分野の重点事業

文化を軸にしたまちづくり

- ①文化戦略 P22
- ②国際戦略 P23
- ③空間戦略 P23

高齢者にやさしいまちづくり

- ①社会的孤立ゼロ P24
- ②100歳健康 P25
- ③一人暮らしでも安心 P25

子どもと女性にやさしい
まちづくり

- ①待機児童対策 P26
- ②出産前から切れ目ない子育て支援 P27
- ③子どもの虐待・貧困対策 P28
- ④わたしらしく、暮らせるまち。 P28

さらに安全・安心な
まちづくり

P29

地域とともに育む教育

P32

1.文化を基軸にしたまちづくり (1) 文化戦略

(単位:千円)

1.文化を基軸としたまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	31事業	1,079,525	722,170

その他関連事業・・・5事業、44,953

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
1	国際アート・カルチャー都市推進事業	10,000	10,000	国際アート・カルチャー都市構想実現のため、都市懇話会等の運営とともに、同都市構想の牽引役である豊島区国際アート・カルチャー特命大使の活動の支援を推進していく。	国際アート・カルチャー都市推進室長
2	舞台劇「不戦賛歌」公演事業	7,189	7,189	豊島区芸術文化劇場で公演する、障害者による舞台劇公演に必要な経費の一部を区が負担する。	障害福祉課
3	「幻の貝塚」発見に伴う埋蔵文化財調査	43,542	13,243	歴史的発見である池袋東貝塚の発掘調査の成果をまとめ、普及啓発事業を実施し、学術報告書を刊行する。	庶務課
4	芸術顧問	5,400	5,400	令和元年11月1日より、豊島区文化芸術振興条例に定める芸術顧問を新たに2名任命することになったため、令和2年度に係る予算を計上する。	文化デザイン課
5	熊谷守一誕生140周年事業	1,500	1,500	熊谷守一誕生140年にあたる令和2年度に、熊谷守一誕生140周年特別企画展を開催し、その存在と業績を区内外に周知する。	
7	Hareza池袋グランドオープン関係事業	10,000	10,000	2020年6月末(予定)、ハレザタワーが開業するにあたり、Hareza池袋の8つの劇場や中池袋公園を活用し、周辺のエリアマネジメントを行う事業者とも協働し、グランドオープンのイベントを行う。	Hareza池袋総合技術担当課長
8	芸術文化劇場こけら落とし公演関係事業	100,000	100,000	昨年度に引き続き、認知度を上げ、完成を広く周知する本事業を行うことにより、広域から来街者を呼び、その経済効果と文化振興などの波及効果は豊島区の魅力をトータルに高める。また、あわせて区民の文化鑑賞機会の充実を図る。	文化商工部長 劇場運営担当課長 事務取扱
6	野外劇場イベント観光事業	36,000	36,000	池袋西口公園野外劇場において、クラシックコンサートを実施する。令和2年9月までは、ナイトライフ観光推進事業(文化観光課)として実施し、10月以降は標記文化デザイン課予算にて、事業を継続していく。	
9	ナイトライフ観光推進事業	90,910	90,910	池袋西口公園野外劇場をアフター・ザ・シアターの拠点として、本格的なクラシック音楽を毎週1回夜に堪能できる感動空間を提供する。また、池袋及び周辺地域の夜の魅力的コンテンツを効果的に発信し、まちの回遊性を高める。	文化観光課
10	池袋ジャズフェスティバル運営事業	2,000	2,000	池袋西口公園のリニューアルオープンに伴い、令和元年度は休止していた池袋ジャズフェスティバルを復活する。	
11	池袋アニメタウン戦略の策定	5,000	5,000	秋に実施される国内最大級のアニメ関連イベント開催に合わせ、区内のマンガ・アニメを活用した取組みを行う企業等と連携して戦略を策定するとともに、イベント内容等のPRを展開する。	マンガ・アニメ活用担当課長
12	トキワ荘まちづくりプロジェクト事業	5,000	5,000	ミュージアムとの連携イベント実施、商品開発、情報発信、来街者のための基盤整備のためのプロジェクトを実施する。	
13	トキワ荘通りお休み処機能強化事業	24,119	6,622	トキワ荘マンガミュージアム開設後は、トキワ荘通りお休み処がショップ機能を担うための体制強化を行う。	マンガの聖地としまミュージアム担当課長

1.文化を基軸にしたまちづくり (2) 国際戦略

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
15	多文化共生推進事業	2,244	2,244	大学等と連携して、日本語教育等に関するアンケート調査を実施する。	多文化共生推進担当課長
16	第20回アシテジ世界大会開催支援	10,000	10,000	3年に一度のアシテジ世界大会と舞台芸術フェスティバルが日本で初めて開催される。こどもと文化芸術に関わる専門家が世界中から集まり、国際会議やワークショップなどが開催される。また、国内外の選抜された舞台作品が公演され、だれもが楽しめる祭典にもなっている。豊島区は、本大会に協賛する形で、こどもの鑑賞機会の提供と会場提供を行う。	文化デザイン課
17	東アジア文化都市交流事業	14,000	14,000	2019年東アジア文化都市として、行政・民間レベルで友好を深めた日本・豊島区、中国・西安市、韓国・仁川広域市において、引き続き、互いの文化を発信、体験できる交流事業を実施する。	東アジア文化都市 担当課長
参考	オリンピック・パラリンピック気運醸成事業	179,022	159,258	ホストタウン交流、聖火リレー(出発式、ボランティア等)、気運醸成事業、ライブサイト等の実施に係る経費を計上する。	学習・スポーツ課

1.文化を基軸にしたまちづくり (3) 空間戦略

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
18	野外劇場管理運営事業	156,595	53,604	池袋西口公園野外劇場の管理運営に要する経費を計上する。 運営はとしま未来文化財団に事業委託する。	文化商工部長 劇場運営担当課長 事務取扱
19	トキワ荘マンガミュージアム管理運営事業	143,879	136,794	トキワ荘マンガミュージアム開設後の運営委託、保守にかかる経費を計上する。	マンガの聖地としま ミュージアム担当課長
20	グリーン大通りエリアマネジメント推進事業	10,000	10,000	グリーン大通りエリアマネジメント協議会を中心とした地域の関係者による継続的なまちづくり活動の仕組みの構築と、国家戦略道路占用事業など公共空間を活用した事業を行い、この地域にふさわしい賑わいの創出を図る。	都市計画課長
21	大塚駅北口駅前広場光のファンタジー事業	5,000	5,000	大塚駅周辺整備事業に関連し、駅前広場に設置する大リングおよび3つのリングモニュメントの照明を用いて、光のファンタジーを演出する。演出の際に必要な維持管理経費等を計上する。	
22	池袋副都心再生推進事業	15,400	15,400	東池袋地区のまちづくりガイドラインの検討。民間都市再生事業と都市基盤整備計画との連携調整。池袋駅全体の防災対策計画の検討。	
23	池袋駅周辺地域街区再編街づくり事業	8,000	8,000	建物の老朽化が進む池袋駅東口エリアにおいて、東京のしゃれた街並み推進条例の街区再編まちづくり制度を活用し、街区再編、共同建て替え等のまちづくりを誘導することにより、安全・快適なまちづくりを実現する。	再開発担当課長
24	池袋副都心交通戦略推進事業	13,532	13,532	南北区道の歩行者優先化を実現するため、荷さばきルールの導入、路外荷さばきスペースの確保とその運用支援をする。また、南北区道歩行者優先化後の周辺への影響について事後検証を実施する。	
25	イケ・サンパーク管理運営事業	124,452	124,452	令和2年度オープン予定の本公園について、オープン後必要となる維持管理経費等を計上する。	公園計画特命担当課長
26	雑司ヶ谷鬼子母神堂防災設備更新事業の補助事業	43,542	5,327	令和元年度に採択された国庫補助事業である雑司ヶ谷鬼子母神堂防災設備更新事業が文化庁の意向で2ヶ年事業となったため引き続き補助する。	庶務課
参考	もっときれいな街づくり推進事業	26,680	26,680	来街者に対して、ごみ等のポイ捨ての禁止を周知しながら、ポイ捨てごみを回収する事業を令和元年11月より実施している。現状3人5班編成で水曜と休日(年末年始を除く)の活動を、4月より平日の作業日を1日追加し、7月より3人10班編成に拡充する。	環境保全課

2. 高齢者にやさしいまちづくり (1) 社会的孤立ゼロ

(単位:千円)

その他関連事業・・・42事業、696,865

2. 日本一高齢者にやさしいまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	63事業	2,537,777	978,784

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
1	社会的孤立ゼロプロジェクト事業	6,036	6,036	大学やシルバー人材センター等と連携し、「パワーアシストスーツ」等のロボット技術を活用して高齢者の就労促進を図る。また、高齢期の社会参加・健康増進等を促すため、高齢期に差し掛かる年代を対象に情報誌を配布する。	総合高齢社会 対策推進室長
2	区民ひろばマンダリンコンサート 実施事業	1,035	1,035	区民に良質な音楽に触れる機会を提供するため、3ヶ年で区民ひろば全地区においてマンダリンコンサートを開催する。	地域区民ひろば課
3	区民ひろば健康マーじゃん区長杯 実施事業	100	100	「健康マーじゃん区長杯」を創設し、高齢者の外出を促進する。	
4	高齢者地域見守りタグソリューション 事業【介護会計】	1,010	1,010	「見守りタグ」を持った認知症高齢者等の行方を、位置情報履歴として保護者が確認できるシステム利用に要する経費を助成することにより、高齢者の安全を確保する。	高齢者福祉課
5	中小規模公園活用プロジェクトモデル 事業※再掲	5,158	5,158	中小規模公園の新たな利活用の方法を検証するため、モデル公園を中心に、飲食物も提供できる「パークトラック」を活用した、これまでにないサービスを展開する。	公園緑地課
6	公園トイレ等特別清掃事業	40,538	40,538	特別清掃について、平成29年度～令和元年度までのモデル実施を踏まえ、区内公園すべてへ範囲を拡大し、特に利用頻度の高い公園は1か月に1回、利用頻度の高い公園は2か月に1回、それ以外を3か月に1回実施する。	

2. 高齢者にやさしいまちづくり (2) 100歳健康

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
7	フレイル対策推進事業	35,811	35,811	フレイル対策を区内全域に展開するため、区民ひろばにフレイル対策機器を設置するとともに、専門職が区民ひろばを巡回し、フレイルチェックなどを実施する。	高齢者福祉課
8	フレイル対策センター運営事業【介護会計】	25,003	25,003	令和元年5月に開設したフレイル対策センターの運営、事業経費を計上する。	
9	認知症検診推進事業	7,625	7,625	認知症に対する普及啓発及び認知症の早期発見・早期対応を目的として認知症検診を実施する。	
10	認知症地域支援推進員活動事業【介護会計】	9,163	4,217	認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切なサービスが提供できるよう、相談支援や支援体制の構築を行う。また、現在1名の認知症支援推進員を1名増加し、令和2年度から開始する認知症検診実施後のフォローを行う。	
11	介護予防センター運営事業【介護会計】	18,115	8,680	介護予防センターの効果的な事業を区民ひろばなど区内全域に広めていくため、人材育成支援、魅力ある事業展開等を総合的に進めていく。	地域保健課
12	胃がん×線・内視鏡検診事業	188,473	77,162	対策型胃がん検診として、胃部×線検査および胃部内視鏡検査の2種類から年齢により選択し、検診を実施する。	
13	肺がん検診事業	202,263	35,762	対策型肺がん検診として、レントゲン撮影および低線量CT撮影を実施する。	
14	在宅医療連携拠点設置委託準備業務	17,457	300	現在、在宅医療相談窓口は本来の相談機能に加え、在宅医療に必要な医療・介護スタッフ確保も行っている。こうした在宅医療に必要な機能を多職種連携で行う拠点としていくための準備業務を行う。	
15	高度管理医療機器等貸出事業助成事業	510	242	在宅療養の患者の服薬遵守のため、高度管理医療機器を患者に貸し出す。	
16	特定保健指導初回面接当日保健指導の導入	9,838	9,838	腹囲、体重、血圧、喫煙歴等から特定保健指導の対象と見込まれる者に対し、特定健康診査当日に特定保健指導の初回面接を行うことで、特定保健指導実施率の向上を図る。	

2. 高齢者にやさしいまちづくり (3) 一人暮らしでも安心

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
17	終活サポート事業	10,600	10,600	区内寺社、葬祭事業者等との連携により、一人暮らし高齢者等の「終活」を支援し、老後の不安を軽減する。	高齢者福祉課
18	「高齢者のてびき」全面改訂・全戸配布事業	6,765	6,765	高齢者向け冊子「高齢者のてびき」を全面リニューアルし、フレイル対策など新たな取り組みを盛り込んだ内容としたうえで、高齢者宅に全戸配布する。	
19	住宅セーフティネット事業※再掲	10,005	3,855	高齢者等の要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録促進を図るため、物件オーナーなどに対する家賃低廉化補助、家賃債務保証料補助、住宅改修費補助等を行う。	住宅課
20	福祉人材育成事業	982	982	福祉業務職員を対象とした研修を行うとともに、介護人材の確保・育成定着を図るため、介護事業所等におけるキーパーソンを育成する。	福祉総務課
21	高齢者安全運転支援装置設置促進事業	1,200	1,200	高齢者ドライバーが運転する車両に安全運転支援装置を装着した場合の補助を東京都が延長することに伴い、区補助についても延長する。	土木管理課

3. 子どもと女性にやさしいまちづくり (1) 待機児童対策

(単位:千円)

2.子どもと女性にやさしいまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	66事業	13,677,063	1,106,594

その他関連事業・・・38事業、278,601
待機児童対策関連事業10事業・・・
(新拡分670,669)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
1	保育所等利用多子世帯負担軽減事業	9,256	9,256	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に合わせ、都は子どもが2人以上いる多子世帯向けに独自の補助を導入した。この補助金は私立保育所、地域型保育事業利用者のみが対象となっているため、区の負担で区立保育所利用者についても同様の補助を実施する。	保育課
2	保育の質向上事業	395	395	保育の質の向上に向け、園児の多様な経験につながる実践的な幼児教育プログラムを、区立保育園においてモデル的に実施する。	
3	緊急1歳児受入事業	23,040	23,040	4・5歳児の部屋等の空きスペースを有効活用して、待機児童の発生しやすい1歳児を緊急的に受け入れるための運営費を補助する。	
4	地域型保育事業における1歳児受入枠拡充事業	9,097	9,097	地域型保育事業において、0歳児枠を1歳児枠に振り替え、受け入れた事業者に対し、0歳児単価と1歳児単価の差額を補てんすることで、1歳児の受入を増やす。	
5	区内保育施設イケバス活用事業	6,850	6,850	区内公立及び私立保育園、希望する幼稚園に在籍する5歳児をIKEBUSに乗せ、猛暑日を除く6月及び10月～2月にキッズパークへの送迎を実施する。	
6	私立保育所に対する保育委託及び助成事業(扶助費)	9,729,978	497,589	私立保育所の運営費として、扶助費として定めた分を補助(令和2年4月以降開設園5園分)	保育政策担当課
7	建物質料補助事業、検診費(扶助費以外)	604,536	59,282	私立保育所の建物質料の補助と検診委託を行う。(令和2年4月以降開設園5園分)	
8	保育サービス推進事業	128,672	10,436	多様なニーズに対応した取り組みを推進するため、都が定めたサービスを実施する園に対しての追加補助(令和2年4月以降開設園5園分)	
9	キャリアアップ補助金補助事業	367,931	24,589	保育従事者の処遇を改善するとともに、保育士等のキャリアアップに向けた取り組みがより一層図られることを支援する補助(令和2年4月以降開設園5園分)	
10	保育従事職員宿舍借り上げ支援事業	415,863	30,135	保育従事職員用の宿舍の借り上げを行う保育所に対して、保育人材の確保、定着及び離職防止を目的とした補助(令和2年4月以降開設園5園分及び既存園拡充分)	

3. 子どもと女性にやさしいまちづくり (2) 出産前から切れ目ない子育て支援

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
11	私立幼稚園給食費補助事業	31,652	31,652	国基準(年収360万円未満相当世帯又は第3子以降の副食費)に加え、年収680万円未満相当世帯の給食費への補助を行う。	子育て支援課
12	私立幼稚園園児保護者負担軽減事業	23,984	23,984	新制度移行園の保護者への補助対象費用を変更し、未移行園の保護者補助との差を解消する(幼児教育・保育無償化に伴う対応)。	
13	妊娠期及び出産後の面接及び育児パッケージ交付事業(ゆりかご・としま事業)	9,490	9,490	妊娠期から出産後までの切れ目のない支援体制を確立してきた事業を継続して実施する。	
14	小学生の病児病後児保育助成事業	3,000	3,000	学童クラブを利用する小学生が、病気や怪我等により登校することが困難な時に、病児・業後児保育サービスを利用した際の利用料助成を実施する。	
15	養育費に関する取り決め促進事業	1,270	970	養育費の取り決めの必要経費補助を行い、ひとり親、その子どもの生活安定を図る。	
16	医療的ケアを要する子どもに対する教育の充実 ※再掲	9,825	4,912	区立幼稚園で医療的ケアが必要な幼児が他の幼児と共に教育を受けられるよう、看護師を配置する。	学務課
17	長期休業中預かり保育事業の充実 ※再掲	4,559	2,843	平成30年度より区立幼稚園1園において試行実施している長期休業中の預かり保育を、3園全園で本格実施する。そのための人員体制の整備及び必要経費を計上する。	
18	特別な支援を要する子どもに対する教育の充実 ※再掲	20,541	1,339	区立幼稚園で特別な支援が必要な園児が増えていることから、特別支援補助を1名増員する。	
参考	としまキッズパーク整備事業	62,817	47,817	造幣局跡地のうち、公園(イケ・サンパーク)整備部分の隣接地約1,000㎡について、幼児・児童が安心して利用できる遊びの空間を暫定整備する。	公園計画特命担当課長

3. 子どもと女性にやさしいまちづくり (3) 子どもの虐待・貧困対策

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
19	子どもの権利マンガ版パンフレットの作成	821	503	子どもの権利に関する条例や子どもの権利の普及啓発を推進するため、子どもに向けた広報媒体の作成・配布、子どもの権利に関する研修・講座の拡充を図る。	子ども若者課
20	社会的養護基盤構築事業	4,307	1,827	児童相談所設置に向けて、家庭的養育の多様な形態の支援者を育成し、家庭的養育の拡大を図ると共に、社会的養育の基盤構築を目指す。	子育て支援課
21	巡回子育て発達事業	20,153	1,440	巡回対象施設が年々増加する中、経験の浅い職員等への指導を行うアドバイザー1名を雇用する。	
22	家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）助成事業	1,742	1,742	地域の子育て支援ボランティアが未就学児のいる家庭を訪問し、傾聴・協働を通じて、親の孤立化・虐待の未然防止につなげる事業への助成を行う。	

3. 子どもと女性にやさしいまちづくり (4) わたしらしく、暮らせるまち。

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
23	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進事業	10,736	10,736	「わたしらしく、暮らせるまち。」ブランディング推進として、FFパートナーシップ協定やとしまぐらし会議プロジェクトに基づく公民連携施策の実施、中小規模公園プロジェクトを進めるとともに、としまscopeの運営、強化を図る。	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長
24	子ども若者総合相談事業 支援員の増員	16,368	2,470	子ども若者総合相談事業の円滑な運営のため、18歳～おおむね39歳までの若者支援対応として、委託事業の支援体制を強化することで、機会を逃さず対応する体制を整える。	子ども若者課
25	子ども会議開催事業	246	246	子どもの権利に関する条例第20条第4項に規定する子ども会議を開催する。	
26	そめふくちゃん誕生5周年記念イベント	3,340	3,340	新庁舎移転とともに誕生したそめふくちゃんの5周年記念を祝い、そめふくちゃんの生みの親、たかいよしかず氏の作品展及び子どもを対象にしたイベント（ワークショップなど）を開催する。	
27	住宅セーフティネット事業 ※再掲載	10,005	3,855	高齢者等の要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録促進を図るため、物件オーナーなどに対する家賃低廉化補助、家賃債務保証料補助、住宅改修費補助等を行う。	住宅課
28	中小規模公園活用プロジェクトモデル事業	5,158	5,158	中小規模公園の新たな利活用の方法を検証するため、モデル公園を中心に、飲食物も提供できる「パークトラック」を活用した、これまでにないサービスを展開する。	公園緑地課

4. さらに安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

その他関連事業・・・8事業、2,098,336

4.さらに安全・安心なまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	34事業	2,898,601	2,850,766

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
1	防災カメラ設置事業	14,114	14,114	防災公園、池袋第三小学校に防災カメラを設置する。	防災危機管理課
2	災害用電源供給物品(空気電池)の備蓄	1,320	1,320	水や空気で発電する非常用電池を5年間で3,000人×2日分備蓄する。	
3	感震ブレーカー設置助成事業	2,273	2,273	「地震に関する地域危険度測定調査」による火災危険度4以上の地域を対象に、耐火造を除く住宅に感震ブレーカーを設置する場合、助成を行う。事業案内等のポスティング・職員の戸別訪問等により、普及啓発を行う。	
4	帰宅困難者用備蓄物資の入替	17,480	17,480	帰宅困難者用備蓄物資について、保存期間が1年以内に切れるものの入れ替えを行う。	
5	救援センター開設キットの整備	5,929	5,929	誰もが、少人数でも迅速かつ確に救援センターを開設できるキット(救援センターごとの個別マニュアル)の作成委託をする。	
6	救援センター用備蓄品の入替・積増	28,376	28,376	地域防災計画に基づき、区の避難者用備蓄物資を1日分から3日分に積み増しを行う。また、保存期間が1年以内に切れるものの入れ替えを行う。	
7	イケ・サンパーク防災施設整備事業	58,143	20,063	発災時、イケ・サンパークにおいて必要となる資器材(テント・非常用電話機・非常用発電機用燃料)を購入する。	危機管理担当課長
8	既設塙等改善工事助成事業	6,000	6,000	倒壊の危険性があるコンクリートブロック塙等の撤去・新設に対する、助成金の申請者数が上昇していることから、令和元年度に終了を予定していた助成期間を延長する。	建築課
9	土砂災害特別警戒区域内擁壁等対策工事助成事業	668	668	土砂災害特別警戒区域(区内で10カ所)のがけ、擁壁の安全対策として、関連工事等に対する助成制度を創設する。	
10	緊急医療救護所用タブレット配備事業	1,223	1,223	災害発生時用の連絡・情報共有ツールとして、タブレットを各緊急医療救護所と医療対策本部に配備する。	地域保健課

4. さらに安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
11	通学路防犯カメラの追加設置事業	16,646	14,520	毎年のように起きる児童への痛ましい事件を受けて東京都の補助金が今年度新たに計上されたため、それを活用し、通学路防犯カメラの増設を進めていく。	学務課
12	急傾斜地擁壁是正工事	9,930	9,930	土砂災害防止法改正を受けて、土砂災害特別警戒区域に指定され区内公園2カ所(駒込公園、駒込東公園)について、擁壁の造り替えもしくは補強工事(含む、実施設計)を行う。	公園緑地課
13	公園等防犯カメラ整備事業	8,000	8,000	公園の安全対策の強化を図るため、区立公園86園に防犯カメラを設置する。	
14	居住環境総合整備事業 (東池袋4・5丁目地区)	172,660	172,660	東池袋四・五丁目地区において、主要生活道路等の拡幅や公園・広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図る。	地域まちづくり課
15	居住環境総合整備事業 (上池袋地区)	199,400	199,400	上池袋地区において、主要生活道路等の拡幅や公園・広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図る。	
16	居住環境総合整備事業 (池袋本町地区)	10,500	10,500	池袋本町地区において、主要生活道路等の拡幅や公園・広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図る。	
17	居住環境総合整備事業 (雑司が谷、南池袋地区)	21,700	21,700	雑司が谷・南池袋地区において、主要生活道路等の拡幅や公園・広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図る。	
18	居住環境総合整備事業 (長崎地区)	14,700	14,700	長崎地区において、主要生活道路等の拡幅や公園・広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図る。	
19	居住環境総合整備事業 (補助81号線沿道巣鴨・駒込地区)	55,700	55,700	補助81号線沿道巣鴨・駒込地区において、主要生活道路等の拡幅や公園・広場の整備を進め、併せて老朽住宅の建て替えを促進することにより地域の防災性、住環境の改善を図る。	

4. さらに安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
20	巢鴨駅南・駒込駅北・西巢鴨駅自転車駐車場防犯カメラ設置事業	7,614	7,614	巢鴨駅南・駒込駅北に関しては防犯カメラの老朽化による機器の更新、西巢鴨駅は防犯カメラが未設置であり、死角が多い現場のため新たに設置を行う。	土木管理課
21	街頭防犯カメラ維持経費補助金事業	1,849	1,849	町会・商店街等地域団体が設置した街頭防犯カメラの保守点検費・修繕費の一部を補助する。	治安対策担当課長
22	震災復興まちづくり模擬訓練事業	2,840	2,840	不燃化推進特定整備地区を対象として、豊島区震災復興マニュアルに基づき、復興まちづくり訓練を実施する。	地域まちづくり課
23	豊島区ホームページ災害時アクセス対策を講じたシステム改修	15,900	6,395	区HPのサーバー(2台)を、庁内から外部に分散移設し、一方が被災した場合でも、対応できる仕組みとする。あわせて、区HPにアクセスが急増した際のサーバー負荷軽減のため、自動作成されたコピー画面にアクセスさせる仕組みを構築する。	広報課長
24	災害時生活必需品(口腔衛生)備蓄事業	1,238	1,238	避難所での感染症等の予防と健康管理を行うため、避難所生活者のための口腔衛生用品を備蓄する。	健康推進課
25	防犯カメラ整備	13,352	13,352	健康プラザとしまの防犯カメラの既存設備の更新を行う。	学習・スポーツ課
26	無電柱化事業(巢鴨地蔵通り)	184,078	184,078	既存区道に対する無電柱化の実施(巢鴨地蔵通り)	道路整備課
参考	立教通り整備事業	107,400	107,400	立教通りの関係者等との協議を踏まえ、歩道拡幅、無電柱化による安全性、防災性の向上を図り、環境機能と景観機能を確保した先駆的な道路整備を行う。 (事業期間:令和8年度まで)	

5. 地域とともに育む教育

(単位:千円)

5.地域とともに育む教育	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	55事業	5,000,684	3,382,316

その他関連事業・・・37事業、3,152,720

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
1	楽器寄附ふるさと納税実施事業	1,665	407	楽器寄附ふるさと納税を活用し、全国にある休眠楽器の寄附を受けることで、小中学校の音楽環境を充実させていく。	学務課
2	学校給食への公費補助事業	21,142	21,142	食育事業を推進するため、また、消費税増税・物価上昇の影響による、給食費の値上げや、児童・生徒の家計への影響を和らげるため、学校給食で提供するお米の経費を一部、区で負担する。	
3	部活動指導の充実	17,591	4,480	①中学校部活動の技術的指導・助言、大会等への引率を担う「部活動指導員」を雇用する。②外部指導員の配置時間を拡大する。	指導課
4	区立学校法律相談事業(スクールロイヤーの配置)	1,289	1,289	学校で起こるいじめや保護者とのトラブル等を法的に解決する弁護士を派遣する。	指導課
5	スクール・サポート・スタッフ配置事業	26,011	26,011	教員の負担軽減のため、授業準備支援等を行うスクール・サポート・スタッフを任用し、小・中学校に配置する。	
6	社会教育指導員の配置	5,548	4,125	家庭教育推進事業、PTA活動支援事業に係る社会教育指導員を配置する。	庶務課

5. 地域とともに育む教育

(単位:千円)

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管
7	給食管理・栄養計算システム「カロリーメイク」保守委託	396	396	現在、区立小・中学校の栄養士が使用するパソコンにインストールされている給食管理・栄養計算システム「カロリーメイク」を最新の状態に更新し、国等への正確な報告、また、システムのヘルプデスク利用による栄養士業務の効率化を図る。	学務課
8	医療的ケアを要する子どもに対する教育の充実 ※再掲	9,825	4,912	区立幼稚園で医療的ケアが必要な幼児が他の幼児と共に教育を受けられるよう、看護師を配置する。	
9	長期休業中預かり保育事業の充実 ※再掲	4,559	2,843	平成30年度より区立幼稚園1園において試行実施している長期休業中の預かり保育を、3園全園で本格実施するための人員体制の整備及び必要経費を計上する。	
10	特別な支援を要する子どもに対する教育の充実 ※再掲	20,541	1,339	区立幼稚園で特別な支援が必要な園児が増えていることから、特別支援補助を1名増員する。	
11	池袋第一小学校の仮校舎移転に伴う通学路安全対策	26,669	26,669	池袋第一小学校舎改築に伴い旧文成小校舎を仮校舎として使用するにあたり、新しい通学路上に踏切等の危険箇所があるため、学童交通安全指導員及び警備員を配置する。	
12	池袋第一小学校の仮校舎移転に伴う通学路安全対策(子どもスキップ分)	26,133	26,133	池袋第一小学校舎改築に伴い旧文成小校舎を仮校舎として使用するにあたり、新しい通学路上に踏切等の危険箇所があるため、学童交通安全指導員及び警備員を配置する。子どもスキップ利用の児童も考慮し、配置時間も延長する。	放課後対策課
13	入退室管理システム区立小学校への拡張	33,091	5,095	子どもスキップ学童クラブの児童に導入している入退室管理システムを区立小学校1年生から3年生までの全児童に利用拡張する	学務課 放課後対策課
14	学校門扉の自動施錠化事業	18,655	18,655	小中学校及び幼稚園の安全管理のため、校門等の自動施錠化を行う。	学校施設課
15	体育館トイレ等緊急改善推進事業	65,110	65,110	小中学校及び幼稚園の体育館トイレや外部トイレなどの洋式化改修を行う。また、改築校の和式トイレを洋式化する。(令和元年度からの継続事業)	
16	スクールソーシャルワーカー(SSW)の雇用	24,834	11,393	不登校・いじめ・虐待・子どもの貧困など、関係機関との連携がより求められ、同時に不登校対策の強化を図っていくため、SSWを2名増員し、報酬月額を増額する。	教育センター
17	就学相談担当(教育相談員)の雇用	75,364	4,642	教育相談、就学相談の件数が増加し、学校からの検査の依頼に対応しきれないなど事業継続が困難な状況にあるため相談員を1名増員する。	
18	インターナショナルセーフスクール推進事業	4,955	4,955	安全で健やかな学校環境づくりに取り組む国際認証取得であるインターナショナルセーフスクールの新規認証(さくら小・千川中)、および再認証(池袋第一小、池袋中)を目指す。	指導課

第33回 としま能の会

2020年5月9日（土） 東京芸術劇場プレイハウス

『本格的な能楽公演の鑑賞機会を創出し、日本の伝統芸能の普及に寄与する』



区ゆかりの一流の演者による能楽公演を開催します。

©新宮夕海

民俗芸能inとしま2020 ひとはおどる

11月 GROBAL RING THEATRE

『区内をはじめ、全国の地域に根ざした民俗芸能がグローバルリングに集結。』

トークセッションや会場が一つになる輪踊りなど、民俗芸能の魅力を発信します。



©梁丞佑

大田楽 いけぶくろ絵巻

10月4日（日） GROBAL RING THEATRE

『西口野外劇場で躍動！古の旋律と軽やかなリズムで絵巻の世界へ。』

区在住の能楽師狂言方和泉流の野村万蔵氏プロデュースによる、豊島区オリジナルアレンジの大田楽を上演します。



©あかさかくみ

【本事業に関するお問い合わせ】
総務部事業企画課

としま新時代 さらなる挑戦へ



Photo HiroyukiMayuzumi

令和2年2月／豊島区政策経営部広報課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
TEL(03)3981-1111(代表)